

輝く介護

第24号
法人化10周年記念

2012年(平成24年)
11月12日発行

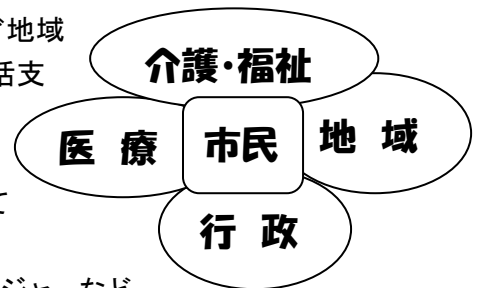
特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構
連絡事務所 〒247-0061 鎌倉市台2-8-1 台在宅福祉サービスセンター内
TEL0467(46)0788 Fax0467(46)0059
<http://www.kamashien.com> e-mail jimu@kamashien.com

祝 NPO 法人化10周年記念

“地域包括ケアシステム鎌倉型”の構築は 医療と介護・福祉と地域と行政とのまちづくりから

かまくら地域介護支援機構 理事長 樽井彰子

今から3年前、輝く介護19号で私達は“地域のパワーを協働で繋ぐ地域包括ケア鎌倉型を創ろう”と呼びかけました。あれから3年、地域包括支援センターを中心に、地域の支えあいやサロン活動など、一歩ずつではありますが地域の中で広がりを見せています。そこでは地域住民はもとより地区社会福祉協議会や民生委員の活躍が大きな力となっています。



さあ、次は医療や看護に関わるスタッフ、そしてヘルパーやケアマネジャーなど介護や福祉に関わるスタッフの地域への出番です。高齢者が地域で自分らしく、可能な限り自立して暮らしていけるためには、右上の5つの領域(介護福祉・医療・地域・行政・市民)が複合的に連携して“共に働きあう”ことが必要です。これが、私たちの目指す地域包括ケアシステム鎌倉型です。地域の皆さんが気軽に声を掛け合えるまちを目指して、在宅で医療や介護の何らかの手助けを必要とする高齢者を支えるために、地域の皆さんとともに関係する機関が協力していこうではありませんか！

2つのプロジェクトで高齢者を支える仕組みを検討中…

さて、法人化10周年を迎えるかまくら地域介護支援機構では、独立行政法人福祉医療機構からの助成事業「地域の高齢者等を笑顔で支えるシステムづくり」に取り組んでいます。

この事業では、非日常性の生活支援(災害時の支援)と日常の生活支援の2つのプロジェクトチームをつくり、検討を重ねています。3.11東日本大震災の尊い犠牲の上から、私たちは多くの教訓を学びました。市内には大きな介護老人福祉施設の他たくさんのデイサービス施設、ヘルパーさんの事業者、福祉用具の店舗等が点在しています。そして在宅で何らかの介護を受けている高齢者の皆さんも大勢住んで居られます。災害時の生活支援検討チームは、災害発生時の緊急避難や避難所へ移動してからの避難生活など、今からそれぞれがどのような動き方をするかなどを地域の人たちと医療や介護の専門職集団が、災害時の準備を話し合っておくことの必要性を検討しています。この議論を踏まえて、今年度中には要援護者の災害時マニュアルを完成させることを目標に進めています。

もう1つの日常の生活支援チームは、現在「高齢者生活支援サポートセンター準備室」を開設し、生活支援サポーターの需給調整の仕組みの実験を行っています。「その人らしく」を支えるために、介護保険では提供できない軽度の生活支援サービスによって、地域包括ケアシステムの一部分として、心豊かに暮らしていける仕組みづくりを考えています。これら2つのプロジェクトは、前段でお話しました「地域包括ケアシステム鎌倉型」を具体化する試みになると私たちは期待しています。

お気軽にご利用ください！

地域包括支援センター

地域包括支援センターは、”高齢者のためのよろず相談所“です。

高齢者ご本人でなくても、ご家族などの相談でもお受けします。

- 地域包括支援センターは、鎌倉市がそれぞれの事業所に委託している仕事です。センターの職員には守秘義務がありますので、安心してご相談ください。
- たとえば「最近、日常の買い物が億劫になって…」「これまで夫(妻)の介護を自分がしてきたが、体力も衰えてきて将来が心配…」「母とは離れて暮らしているが、最近、預金の管理が出来ていないみたい…」「これからも自分の事は自分でしたいので、体力を維持するために健康教室に行きたい…」などなどのご相談にお応えします。

★ お住まいの地区を担当する支援センターにご連絡ください。

<鎌倉地域>

地域包括支援センター 鎌倉市社会福祉協議会

○住所: 御成町20-21

☎61-2600

◆担当地区: 十二所、浄明寺、二階堂、西御門、雪ノ下、扇ガ谷、小町、大町、御成町

地域包括支援センター 鎌倉静養館

○住所: 由比ガ浜4-4-30

☎23-9910

◆担当地区: 材木座、由比ガ浜、笹目町、佐助、長谷、坂ノ下、極楽寺、稲村ガ崎

<腰越地域>

地域包括支援センター 聖テレジア

○住所: 腰越1-2-20

☎38-1581

◆担当地区: 腰越、津、津西、西鎌倉、七里ガ浜東、七里ガ浜

<深沢地域>

地域包括支援センター 湘南鎌倉

○住所: 山崎1202-1

☎41-4013

◆担当地区: 梶原、寺分、山崎、上町屋
手広、笛田、常盤、鎌倉山

<大船地域>

地域包括支援センター ふれあいの泉

○住所: 今泉2-4-10

☎43-5977

◆担当地区: 大船一丁目~六丁目、岩瀬、
今泉、今泉台

地域包括支援センター きしろ

○住所: 小袋谷2-14-10

☎42-7503

◆担当地区: 山ノ内、台(一丁目を除く)、
小袋谷、大船(一丁目~六丁目を除く)、
高野

<玉縄地域>

地域包括支援センター ささりんどう鎌倉

○住所: 城廻270-2

☎42-3702

◆担当地区: 台一丁目、岡本、植木、城廻、
関谷、玉縄

地域包括支援センターの仕事

① 総合相談・支援事業

高齢者、ご家族、地域の方からの生活全般
について相談や悩みにお応えします。

② 権利擁護事業

成年後見制度の紹介や虐待の早期発見、消
費者被害の未然防止などに取り組みます。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の連携や協力体制作りの中心的な役割
を担うとともに、ケアマネジャーの指導や支援を
行います。

④ 介護予防事業に関するケアマネジメント事業

高齢になった方の健康づくり、介護予防のお手
伝いや介護予防計画の作成を行います。

活動報告

かまくら地域介護支援機構では、福祉・介護職員や医療従事者など介護保険のサービスに携わる人々の連携や資質向上のために、事業種別の連絡会などで各種研修会を開催しています。今年度の活動から主なものをご紹介します。

通所系介護事業者連絡会

昨年に引き続き、のりまき先生こと杉浦史晃先生(ふれあいサポート研究所代表)による「福祉レクリエーション研修会」を開催しました。44名の参加者のうち三分の二の方がのりまき先生の研修会が初めてとのことでしたので、まずは昨年度のおさらいから始まりました。

前回のテーマともいえる「笑い」と「楽しい」の関係性や、「楽しい」と「健康」の関係をお話していただき、生活の中でコミュニケーションそのものを楽しむことがレクリエーションであると再認識しました。研修の中では、「つい笑ってしまう状況」に陥る実技をいくつか紹介していただき、またもや目から鱗が何枚か落ちました。関心のある方はURLをご覧ください。<http://www.sky.hi-ho.jp/web-norimaki/>



訪問介護事業者連絡会

「新しい介護技術キネステティクス」研修会を7月～8月基礎編4日・応用編3日の計7日間コースで開催しました。キネステティクスに関する研修は今回で3年目となりますが、介護に携わる多くの方々の参加をいただきました。参加者の声をご紹介します。

参加者の多いこととその熱気に驚きました。

まず、自分の体の動きをよく理解し、その動きの感覚をつかみ、人の動きについて学習することで、相手の使える機能を十分に使い、動いていただくことを学びました。何度も繰り返し自分の体を使いながら、わからないことはすぐ先生の指導を受け、また同じことを繰り返して理解を深めるという指導でした。そして、じかに先生に介助していただく体験の中で、「自分の体も楽、相手の体も楽」を自分の体で感じる事が出来ました。この技術を身につけ、自分の専門とするケアの仕事に生かしたいと、7日間一生懸命でした。

現在、少しですが仕事の中で生かす事が出来ています。もっと学習して自分のものにしたいと思っています。【ささえる会 川合 太恵子】

「ターミナルケアを考える会 in 鎌倉」発足！！

第12～14回の医療と福祉のネットワーク会議で取り上げたテーマは「ターミナルケア」でした。毎回100名を超す参加者があり、多くの方と意見交換が出来ました。「誰にも例外なく訪れる死」とどのように向き合い、私たち在宅サービス提供者にできることは何か、を考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。

そこで、最期までその人らしく安心して暮らせるまち・鎌倉を目指して『ターミナルケアを考える会 in 鎌倉』を立ち上げました。今後多職種のご参加をいただき、お互いの理解を深め、多くの人的資源を最大限に活用できるように、体制づくりを行っていきたいと思います。

この趣旨をご理解いただき、『最期まで安心して暮らせるまち・鎌倉』を合言葉に、多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしています。